

# 事業報告

平成29年度 教育事業

## 通学合宿

平成30年2月13日(火)～16日(金)

【対象】小学校6年生

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

家庭を離れ、国立信州高遠青少年自然の家に宿泊しながら学校に通う活動を通して、基本的な生活習慣の見直しや社会性の伸長およびコミュニケーション能力の向上を図る。また、中一ギャップ対策として、小学校卒業前に、同じ中学校へ入学する児童たちが共同生活を行って連帯感を育み、安心してスムーズに中学校生活へ移行できるよう児童同士の間関係づくりを目指す。

### ～主催・実施校～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

実施校：伊那市立高遠小学校 伊那市立高遠北小学校 伊那市立高遠中学校

### ～活動日程～

13日(火)	14日(水)	15日(木)	16日(金)
* 通学合宿の荷物を持って、通常通り学校に登校	6:00 起床・身支度・清掃 7:00 朝食 7:30 自然の家出発 登校 高遠北小 7:50着 高遠小 8:10着	6:00 起床・身支度・清掃 7:00 朝食 7:30 自然の家出発 登校 高遠北小 7:50着 高遠小 8:10着	6:00 起床・身支度・清掃 7:00 朝食 7:30 自然の家出発 登校 高遠北小 7:50着 高遠小 8:10着
学校生活	学校生活 (大学生ボランティアは授業参観・授業補助) 迎えバス 高遠小 15:10発 高遠北小 15:30発	学校生活 (大学生ボランティアは授業参観・授業補助)	学校生活
迎えバス 高遠小 16:10発 高遠北小 16:30発	16:00 荷物整理、身支度等 16:30 参加者交流会	迎えバス 高遠小 16:10発 高遠北小 16:30発	* 通学合宿の荷物を持って通常通り下校
17:00 始めの会 17:40 入室・荷物整理	・しっぽ取り合戦 ・ドッチビー大会	17:00 洗濯物回収 17:30 夕食自炊	
18:00 夕食・ 19:00 入浴	18:00 夕食 19:00 入浴	メニュー ・芋煮 ・おにぎり (混ぜ込わかめ、ゆかり) ・お茶 ・デザート	
20:00 宿題・学習	20:00 宿題・学習	19:30 プラネタリウム鑑賞	
20:30 アイスブレイク ～仲間作り～	20:30 自由時間 洗濯	20:30 入浴(～21:30) 宿題・学習 アンケート記入 (荷物整理)	
21:30 就寝準備 22:00 就寝	21:30 就寝準備 22:00 就寝	22:00 就寝	

### ～参加者～

高遠小学校6年生 男子20名、女子15名

高遠北小学校6年生 男子 8名、女子 5名 合計47名

## ～活動トピックス～

### 活動Ⅰ 「宿題・学習」

班のメンバー全員でそろって宿題を終わらせた。友だちを待っている間は自分で考えた学習をしたり教科書を読んだりした。



### 活動Ⅱ 「参加者交流会」

プレイホールに集まり、大学生ボランティアの先生達のリードのもと、班対抗でしっぽ取り合戦やドッチビー大会を行い、大いに盛り上がった。

### 活動Ⅲ 「自炊 ～芋煮・おにぎり・フルーツポンチ作り～」

クラフト室で「芋煮・おにぎり・フルーツポンチ」を作った。児童は班の仲間と協力して野菜を切ったり、芋煮の味付けをしたり、おにぎりを握ったりしながら一生懸命活動に取り組んだ。



## ～参加者の声～

### 《参加児童》

- ・自分の家にはテレビやゲームがあるけど、自然の家にはそれが全然なくて、最初はつまらないと思っていたけど、だんだん自分たちで活動することが楽しくなった。
- ・違う学校の人たちとも仲良く話したり遊んだりできたので良かった。
- ・テレビやゲームをしているときよりも毎日がとても充実していた。
- ・お母さんたち、いつも大変だな…と思った。感謝の気持ちが増えた。

### 《参加児童保護者》

- ・通学合宿があることで、団体生活を体験できたことは親としてとてもありがたい。この団体生活を体験して、今までよりも自分から行動しなければいけないことを感じていた。
- ・通学合宿後、「班に同じ学校の子がいなかったけど、むしろ1の方が友だちがたくさんできて良かった。」とたくましい言葉が聞け、親としても頼もしく安心した気持ちになることができた。

### 《大学生ボランティア》

- ・普段児童が通う小学校を訪問し、どのような生活を送っているのかを見ることができ、将来、教職を志望する学生にとって訪問自体とても有意義なものとなった。

## ～成果と課題～

- 洗濯や部屋の整理整頓、自炊の後片付けなど、自分のことは自分でしたり、早寝早起きなど生活時間を守ったりと規則正しい生活の良さに気づくことができた。
- 「班でまとまって協力することを学んだ」「他校の児童と仲良くなれた」「中学校が楽しみになった」という記述が多かったので、通学合宿の目的は達成することができたと言える。
- テレビやゲームのない3日間は貴重な体験になったようで、メディア関連の物がなくても楽しく過ごせることに気づくことができた。
- 昨年度に引き続き、インフルエンザが市内で流行していたため、高遠中学校との交流会が中止になったり、合宿の途中で帰ってしまった児童がでたりした。通学合宿の時期について検討する必要性を強く感じた。